

「研究年報」編集委員

委員長 近 藤 幹 生 (保育学)
 委 員 長谷川 俊 雄 (社会福祉)
 委 員 松 本 園 子 (保育・児童福祉学)
 委 員 市 川 奈緒子 (発達臨床)
 委 員 栗 原 淳 一 (理科教育)

編集後記

『研究年報』No.16 をお届け致します。原稿をお寄せいただいた方々、ご協力いただいた方々にかさねて感謝します。『研究年報』は、教育・福祉研究センターが年に1回発行する機関誌です。そして、教育・福祉研究センターの活動に関する記事・報告、研究員（客員研究員、嘱託研究員を含む）の執筆する論文、研究ノート、活動に資する記事が掲載されます（『研究年報』に関する規定より）。研究員のメンバーは、人文・芸術分野、保育、教育、福祉分野、心理学分野、自然・社会科学分野と、とても幅広い学問領域を追究されている方々です。編集委員会では、『研究年報』が、さまざまな知見や研究活動の交流の場、実践報告の場となることをめざしたいと、討議をかさねております。

さて、2011年3月11日は、人類史、人間生活、学問研究上、どのように位置づけられ、追究されていくのでしょうか？次号『研究年報』（2012年号）において、小特集「震災と人間」（仮称）を組む予定です。研究員の方々による論文、研究ノート、報告を募集します。関連する資料、情報などもお寄せくださいますようお願い致します。

（近藤幹生）